

# 親子聖書日課

[日]罪を犯した教会員に忠告する場合、手順があります。最初は2人だけで、次に2,3人で、それでもダメなら教会に申し出ます。主の聖なる宮である教会は、悔い改めを求めます。悔い改める時、十字架の赦しをもって、どんな罪も赦しましょう。

[月]神の定めた結婚には、ゆるぎない定義があります。親から精神的・経済的に自立し、「二人は一体となる」それは、お互いに違いを認め合い、弱い所を助け合い、支え合うことです。神が合わせて下さった人生の最高のパートナーが夫婦です。

[火]富は悪ではありません。主のために用いるなら、よいことです。問題は、富への執着心です。金持ちの青年は、富に頼ったままで、主に従いたいと思ったのです。一時的な富に頼って、永遠の命を失ってはいけません。天に富を積みましょう。

[水]主のために働けるのは、ただ主の恵みです。しかし、その恵みを忘れる時、自分が報われず、人が働かないことに腹を立てるのです。先に救われても、信仰は後の者に追い抜かれます。主のために、奉仕や献金ができることを感謝しましょう。

[木]主の憐れみを求めることに、遠慮はいりません。二人の盲人も群衆が黙らせようとしたが、求め続けました。その執拗な信仰の姿勢を見て、主は求めに応えました。「主よ、私たちが憐れんで下さい」と祈る所に、主の憐れみが現われます。

[金]両替や鳩売りは礼拝者の便宜を図り、手数料は神殿修繕に用いました。良いアイデアですが、主から見ると、「強盗の巣」でした。教会はいつの時代も「祈りの家」で、祈禱会を大事にします。祈りを忘れる時、良いアイデアも祝されません。

[土]宗教指導者は、外見は敬虔そうに見えましたが、心は神から遠く離れ、何の実りもないのです。正に「葉ばかりで実がないいちじく」と同じで、無用の長物です。信仰が実を結ぶためには、御言葉と祈りという水源から常に養分を頂くことです。



NO.1938 2025.11/16-22

名前

	聖書	問 題	答 え
日	マタイ 18:15-35	二人が地上で心を一つにして求めるなら、天の父はどうされますか	
月	19:1-15	人は父母を離れて、その妻と結ばれ、どうなるべきですか。	
火	19:16-30	金持ちが神の国に入るより、何が針の穴を通る方がやさしいですか。	
水	20:1-19	後にいる者が先になり、先にいる者がどうなりますか。	
木	20:20-34	主よ、ダビデの子よ、私たちをどうしてくださいと叫びましたか。	
金	21:1-17	私の家は、何の家を呼ばれますか。	
土	21:18-32	どうするならば、求めるものは何でも得られますか。	
感想と祈りの課題			